



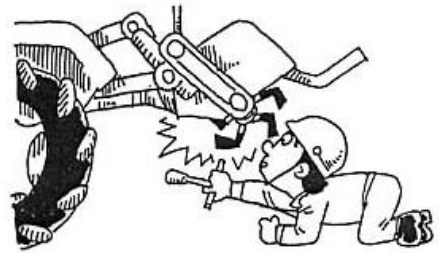
農作業が早まっています！ 農作業事故に注意して、作業を進めましょう！

平年に比べて作業が早まっています。これからの飼料用とうもろこしの畑準備等は、慌てず農作業事故に十分注意して行いましょう。

1 作業前の機械の点検・整備

作業中の故障は作業が遅延し、焦りが生じるため、事故のリスクが高まります。作業開始前に機械の点検を行い、不具合がある場合は整備しましょう。

機械の整備中に手足を挟まれたり、下敷きにならないように、整備する時は地盤の安定した場所で行い、車輪止めや落下防止のスタンドなどの安全用具を必ず使用しましょう



もしものために、落下スタンドを使用しましょう

2 走行・移動時の注意

春先は路肩が軟弱となっていることがあるため、堆肥散布やスラリー散布等で道路を走行する際や、方向転換操作時には、十分注意しましょう。

ほ場から出る際は、必ずブレーキを連結しましょう。



路肩の強度に注意

3 機械からの飛び降り、注意

足下が滑ったり、着地に失敗し足をひねる事故が発生しています。靴やステップについた泥や糞尿は、滑って事故につながりやすいので、取り除きましょう。高い場所からの飛び降りも止めましょう。

4 作業予定を周囲に伝える

いつ、どこで、どのような作業を行うかを家族や仲間などに伝えましょう。その際、作業内容や天候、ほ場作業特性などに合わせた注意喚起の声かけを行うことで、作業者の「危険」に対する意識が高まります。

今年は3月の気温が高かったため雪解けも早く、牧草の萌芽が平年より早く（表1）、施肥作業も進んでいます。

萌芽期に施肥を行い、窒素を十分に吸収させることで、イネ科牧草の有穂茎となる割合が増え、1番草の増収が期待できます。

萌芽期は既に過ぎていますが、まだ施肥していない方は、早めに施肥を行いましょう。

表1 各地の萌芽期（普及センター調べ）

市町村名	R5年萌芽期	平年萌芽期
帯広市	4/5	4/10
芽室町	4/5	4/10
中札内村	4/9	4/13
更別村	4/11	4/16